

邦船定航新

オーシャン・ネットワーク・エクスプレス

商標名「ONE」に決定

事業会社、星港に設置

日本郵船、商船三井、川崎汽船の3社は31日、2018年4月にサービスを開始するコンテナ船統合新会社の商標を「オーシャン・ネットワーク・エクスプレス（ONE）」にすると発表した。新会社は持ち株会社を東京に、事業会社をシンガポールにそれぞれ設立する。統合後の船腹量は140万TEUを超え業界5位となり、世界90カ国以上でサービスを展開する。統合によるスケールメリットに加え、各社の知見を融合させることで、競争力とサービス品質を一気に引き上げる。

東京の持ち株会社および

シンガポールの事業会社設立を決めたほか、事業会社の地域統括拠点を香港、シンガポール、英国（ロンドン）、米国（バ

シニア州リッチモンド）、ブラジル（サンパウロ）にそれぞれ設立することとした。

仏アルファライナーの4月時点での集計で、3社の運航船腹量は約143万TEUで世界シェア約7%に相当する。新会社ではグローバルなネットワークとサービス体制をさらに充実し、高品質かつ競争力あるサービスを顧客に提供することとしている。サービス開始日は当初予定通り18年4月1日。

邦船3社は16年10月、コンテナ船事業の統合を発表。新設の統合会

日本海事新聞

(6/1付)

ル事業は対象外となる。また商船三井、川崎汽船のコンテナ船事業に含まれる物流・ロジスティクス事業も対象外。3社の合意では、出資形式は現金、船舶とターミナル株式の現物出資などを各社から行うとしている。定期コンテナ船と海外ターミナルの各事業は事業会社が行い、統合持ち株会社は株主として事業会社を監督する仕組み。17年7月に合併会社を立ち上げる。

持ち株会社および事業会社の詳細は、関係各

国の競争法上の審査・承認手続きが完了した段階で公表するとしている。3社のコンテナ船事業統合は、すでにシンガポール当局が承認している。

邦船3社は17年4月から独ハパックロイドや台湾の陽明海運とともに共同運航組織「ザ・アライアンス」を結成。同アライアンス結成に向けた議論が端緒となり、統合機

運が高まった。

オーシャン・ネットワーク・エクスプレスのウェブサイトも開設した。URL <https://oceanetworkexpress.com/>